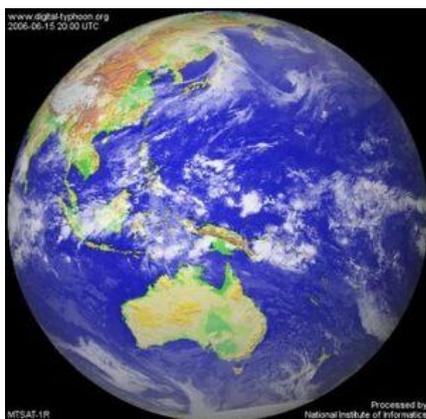


エコアクション21

環境経営レポート

2023年度版

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日



作成日：2024年4月30日

発行日：2024年5月13日

戦略FMパートナー



石川グローブシップ株式会社

1 環境経営方針

石川グローブシップ株式会社は、持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、ビルメンテナンス業務において、地球環境に与える環境負荷を低減して、持続可能なよりよい未来を築くことを目指すための方策を以下の通り定め、全社員で継続的な環境保全に取り組むことを誓約します。

- (1) 当社の活動及びサービスに関わる環境の側面を十分認識し、エコアクション21を構築し、継続的改善を図ります。
- (2) 地球環境を守るための環境に関する法規制を順守します。
- (3) 事業活動において省エネルギー、省資源の観点から、二酸化炭素排出量の削減、一般廃棄物排出量の削減、水道水使用量の削減に取り組みます。
- (4) 排出される廃棄物は、金沢市が推し進める分別を徹底するとともに、リサイクル可能なものについては、リサイクルを徹底します。
- (5) 環境対応事務用品の購入を推進します。
- (6) 環境負荷低減に関する意思統一のため、社員に対し環境教育を行います。
- (7) この環境方針は、全社員に周知徹底するとともに、社外にも開示します。

2023年4月1日

石川グローブシップ株式会社
代表取締役社長 大野 公久

2 事業所概要

(1) 事業者名及び代表者

石川グローブシップ株式会社
代表取締役社長 大野 公久

(2) 所在地

〒920-0855 石川県金沢市武蔵町5番36号 アサジビル
電話:076-263-8308・FAX:076-263-8328
E-mail:info@ishikawa-gs.jp
URL:http://www.ishikawa-gs.jp

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 青山 三裕
担当者 矢部 直美
電話:076-263-8308・FAX:076-263-8328

(4) 設立年月日

・1973年2月5日
・2016年10月1日 商号変更 新社名 石川グローブシップ株式会社
旧社名 石川ビルサービス株式会社

(5) 資本金

3,000万円

(6) 社員数

63名(本社部門12名・現場部門51名)

(7) 事業年度

4月1日～翌年3月31日

(8) 事業内容

建物における清掃及び設備の管理業務

◎電気・空調・給排水衛生設備運転保守管理

日常運転(有人・集中監理)、定期保守

◎保安防災管理・駐車場管理

常駐警備、受付

◎清掃管理

日常・定期清掃、外壁・ガラス清掃等

◎環境衛生管理

空気環境測定、受水槽清掃、害虫駆除

◎リニューアル工事

建築、大工、内装、電気、塗装等

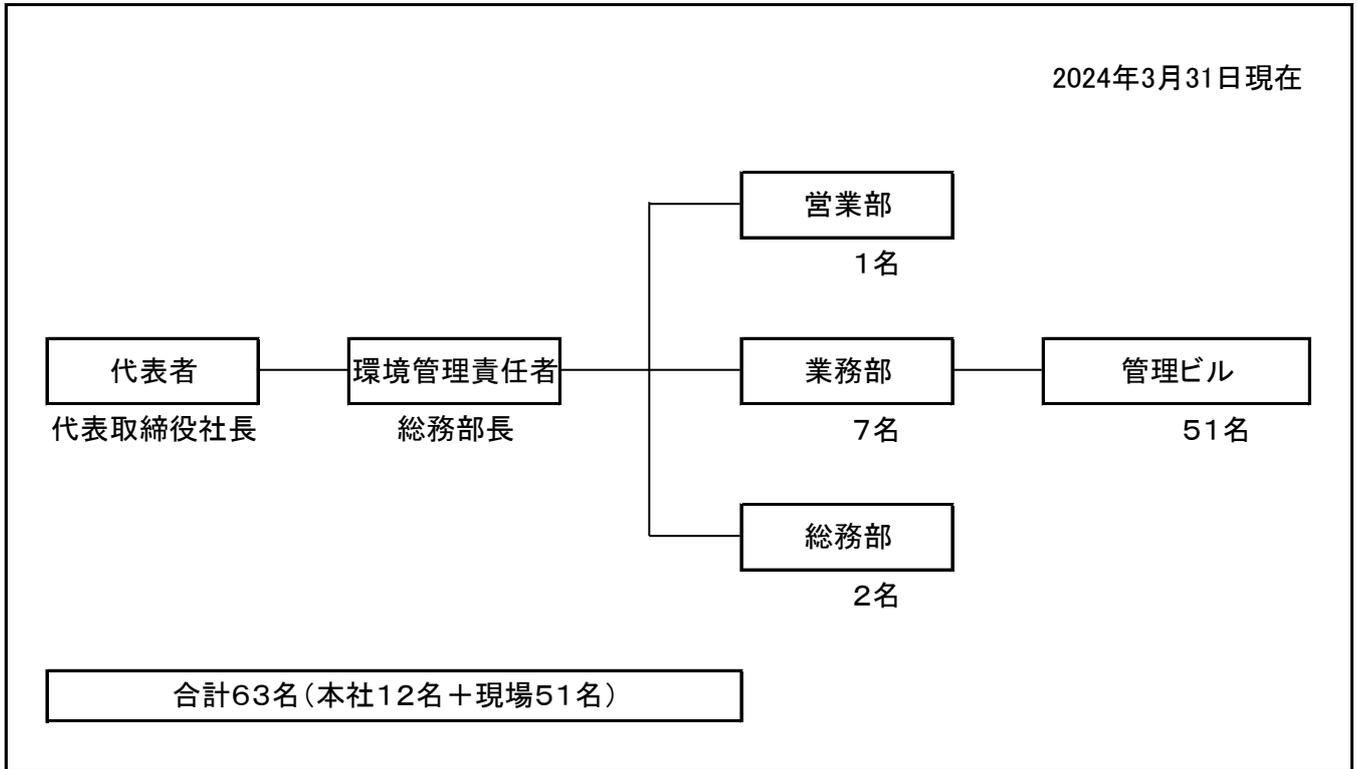
(9) 環境経営レポートの公表の方法

- ア 当社で自由に閲覧できるようにします。
- イ 社外の方から要望があれば提供します。

(10) 認証対象範囲

石川グローブシップ株式会社の全組織及び全活動

3 エコアクション21 推進体制表



【責任者の役割】

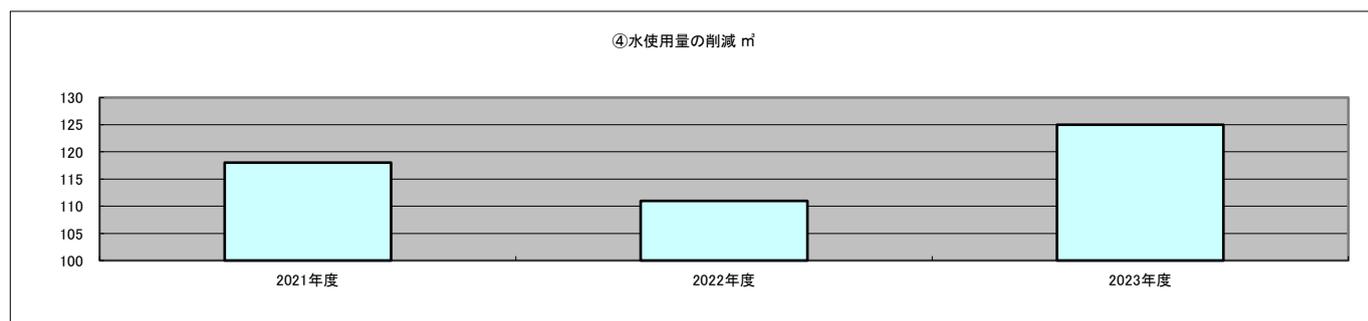
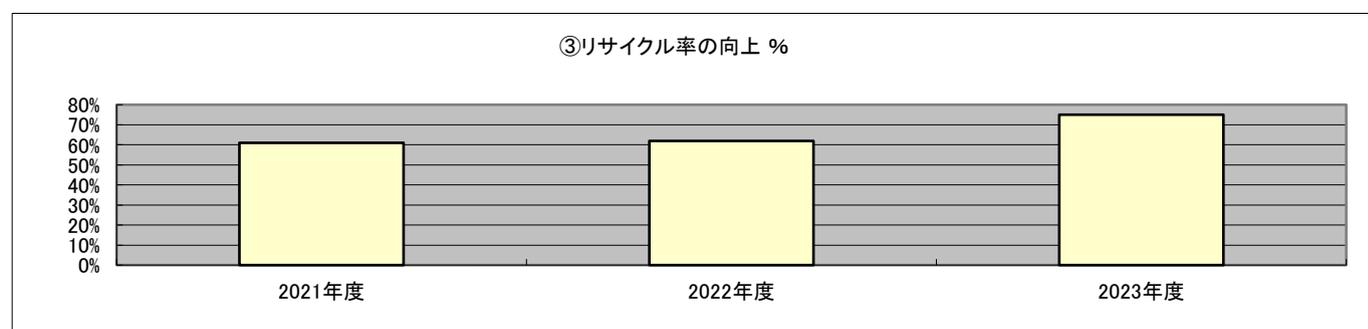
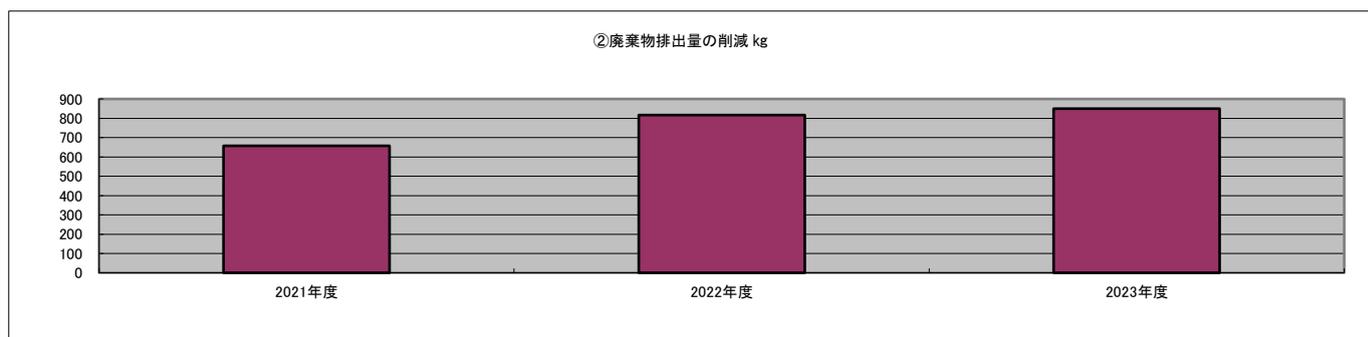
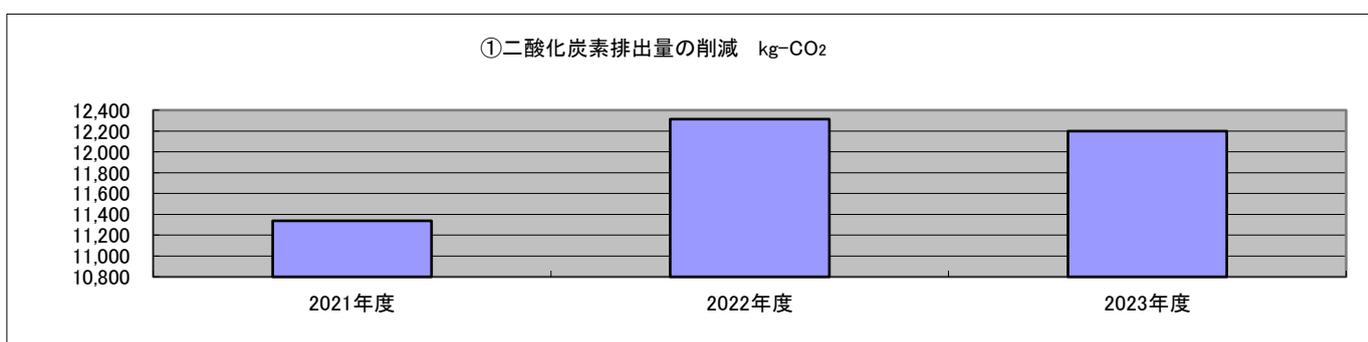
代表者	環境経営方針の制定
	環境管理責任者の任命と実施体制の承認
	取り組みに必要な資源の提供
	エコアクションシステムの見直し
	環境経営レポートの承認
環境管理責任者	エコアクション21活動責任者
	環境経営レポートの作成、公開
	環境目標、計画の作成と進捗管理
	環境関連法律の順守評価
	進捗管理のデータ収集、整理

4 環境経営実績(過去3年間の実績)

(1)2021年～2023年度の実績

目標	単位	2021年度	2022年度	2023年度
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	11,339	12,313	12,197
②廃棄物排出量の削減	kg	657	817	850
③リサイクル率の向上	%	61%	62%	75%
④水使用量の削減	m ³	118	111	125
⑤化学物質の管理強化	SDSで化学物資を特定し、量を把握する			

*電力の二酸化炭素排出係数は、0.438kg-CO₂/kWhを使用しました。



5 中期環境経営目標(2024年度～2026年度)

目標	単位	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
		実績(基準)	目標	目標	目標
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	12,197	12,075	11,954	11,834
②廃棄物排出量の削減	kg	850	842	834	826
③リサイクル率の向上	%	75%	76%	77%	78%
④水使用量の削減	m ³	125	124	123	122
⑤化学物質の管理強化		SDSで化学物資を特定し、量を把握する			

*目標基準値は2023年度実績とする。

*2023年度からは電力の二酸化炭素排出係数は、0438kg-CO₂/kWhを使用する。

*①二酸化炭素排出量、②廃棄物排出量、④水使用量は、それぞれ前年比1%削減目標とする。

*③リサイクル率は、前年比1%向上を目標とする。(リサイクル率=再生利用量/廃棄物排出量)

*グリーンマーク商品、リサイクル商品購入の推進、教育訓練、洗浄作業の管理強化は、下記のとおり取組みを実践する。

*自らが提供するサービスに関しては、環境に配慮した洗剤、ワックス、剥離液を使用し、量の把握と管理を強化していきます。

6 2023年度の環境経営目標、実績、評価

目標	単位	2023年4月～2024年3月		達成率	評価
		目標	実績		
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	11,830	12,197	97.0%	△
②廃棄物排出量の削減	kg	719	850	84.6%	×
③リサイクル率の向上	%	69%	75%	108.7%	○
④水使用量の削減	m ³	159	125	127.2%	○
⑤化学物質の管理強化		数値管理と取扱い管理			○

評価 ○:100%以上の達成率。 △:90%以上100%未満の達成率。 ×:90%未満の達成率。

本年度の数値目標に対する結果は、①「二酸化炭素排出量の削減」については営業活動の活性化に伴う業務用車両ガソリン・軽油の使用量の増加により目標値を下回った。②「廃棄物排出量の削減」については什器備品調達に伴う段ボールごみの廃棄増により目標値を大幅に下回った。③「リサイクル率の向上」は可燃ごみ及びシュレッダーごみの削減により目標値を大幅に上回った。④「水使用量の削減」については当初目標値を上回ったが、業務量増加に伴う洗濯機使用増加により昨年度より使用量は増加した。

⑤化学物質の管理は前年同様、数値管理と取扱い管理としていきます。

原因分析による廃棄物絶対量の低減、節電の取組み強化を図り、中期経営計画初年度の目標達成に向け引き続き取り組んでいく。

7 具体的な取り組み及び自己評価、次年度への取り組み

目標	具体的取り組み内容	評価	担当部署
二酸化炭素排出量の削減	クールビズ、ウォームビズの実施	3	本社全体
	空調機の室内温度管理(設定温度夏季28℃、冬季20℃)	3	
	昼休憩時の事務室の消灯、未使用室の消灯	2	
	事務用機器の起動・停止管理(未使用時の電源切り)	3	
廃棄物排出量の削減	分別回収の徹底(金沢市の指導分別種別に従って分別)	3	総務課
	ミスコピー用紙のリサイクル(古紙回収会社を利用)	3	
	電子データ化推進(紙管理からデータ管理へ)	2	
水使用量の削減	節水の徹底(洗濯時の濯ぎ回数減・洗濯物のまとめ洗い)	3	業務課
	節水の徹底(トイレ手洗い、湯沸室の元栓水量調節)	3	本社全体
グリーン購入の推進	リサイクル商品・グリーンマーク商品の使用	2	総務課
教育訓練	EA21の意義浸透	3	総務課
	会議で進捗報告及び改善報告の実施	3	
化学物質の管理	PRTR法対象外の製品をなるべく選ぶ	3	業務課
洗浄作業の管理強化	洗浄作業で使用する洗浄液の管理表の作成	3	業務課
	管理表に基づく現場別進捗管理表の作成	2	
	管理表及び現場別進捗管理表に基づく責任者教育の実施	2	総務課

評価 0:全く取り組まず。 1:ほとんど取り組まず。 2:ある程度取り組んだ。 3:十分取り組んだ。

8・【石川グローブシップの環境経営方針とSDGsへの取組み】

石川グローブシップは環境経営方針に基づき、SDGsの目標の実現に向かって積極的に取り組んでいきます。

★は重点項目、●は関連項目

SDGsの目標とターゲット			3 すべての人に健康と福祉を	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう
SDGsの目標とターゲット			3. 9	6. 4	7. 3	11. 6	12. 2 12. 5	13. 2 13. 3	15. 1	17. 17
番号	環境経営方針	取組内容	る病壊有減し水水利 のの害らてのの用 件汚化すす水の持 数染学すす水持の効 をに汚学不続の率 大よ質及に能なを 幅るに質及に悩なを に死び大採改善し 削亡大取善のをし 減及気む人のを確 さび・大取善のをし せ疾土確、を保淡							
2	法規制の遵守と地域社会との連携	法規制の遵守と地域社会との連携						●		★
3	二酸化炭素排出量の削減	クールビズ・ウォームビズ実施、空調の温度管理徹底			●			★		
		空調温度の適正管理、消灯の徹底			●			★		
3	水使用量の削減	洗濯のすすぎ回数減とまとめ洗い、節水の徹底	●	★						
4	廃棄物排出量の削減	分別回収の徹底、リサイクルの推進					★			
		用紙のリサイクル、電子データ化推進				●	★		●	
5	グリーン購入の推進	リサイクル商品、グリーンマーク商品の使用					★		●	
6	教育訓練の充実	教育訓練の充実、進捗報告・改善報告の発表						★		●
*	化学物質の管理を進める	洗浄剤の管理、現場進捗管理表の作成と作業の適正運用	★	●						
		洗浄・剥離作業の責任者教育訓練の実施	★							●

※ 2023年3月 SDGs宣言「IMAGINE KANAZAWA 2030 パートナーズ」に加入

イシカワグローブシップカブシキガイシャ

石川グローブシップ株式会社

 ホームページ



自然、歴史、文化に立脚したまちづくりをすすめる



環境への負荷を少なくし資源循環型社会をつくる



次代を担う子供たちの可能性を引き出す環境をつくる



誰もが生涯にわたって学び活躍できる社会風土をつくる



文化や産業に革新的イノベーションが起きる仕組みをつくる

SDGsの達成に向けて実践している具体的な取組

環境にやさしい洗剤や資材の調達を行い、サービスを提供しています。

現場パトロールによる安全管理の強化、熱中症・感染症予防対策に努めています。

洗濯のすすぎ回数減とまとめ洗い、節水の徹底により水使用量の削減に取り組んでいます。

分別回収の徹底やリサイクルなど3Rの推進により廃棄物削減、資源循環型清掃の実践を行っています。

社内冷暖房設定と照明のこまめな消灯により節電に取り組んでいます。

障がい者雇用、安全に関する訓練教育の実施により安全な職場づくり、労災リスクの最小化を目指しています。

IMAGINE KANAZAWA 2030 パートナーズでチャレンジしたいこと

電子データ化の推進、IoT・ロボティクスによるハイブリッド管理に挑戦して業務改革手法の確立を目指していきます。

リサイクル商品・グリーンマーク商品の使用により、更なる廃棄物削減、資源循環型清掃の実践を行っていきます。

国籍・年齢・性別に関係なくすべての人が活躍できるよう柔軟な働き方を導入していきます。

洗剤の使用を極力少なくする活動や自給エネルギーの活用など本業で社会課題に取り組んでいきます。

9 環境関連法規の順守評価及び違反・訴訟等の有無

(1)環境関連法規等の順守状況の確認及び自己評価

主な適用法規名	順守事項(ポイント)	確認日	評価
①労働安全衛生法	ボイラー資格者の配置(1級ボイラー技士:奥田、吉川) ボイラー資格者の配置(2級ボイラー技士:中山、片山、永井)	2023年10月4日 2024年4月5日	3
②廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	廃棄物の適正処理(金沢市に委託) 廃棄物再生利用(分別、金沢市に委託)	2023年10月4日 2024年4月5日	3
③建築物にかかる衛生的環境の確保に関する法律(ビル管理法)	建築物環境衛生管理の履行順守	2023年10月4日 2024年4月5日	3
④グリーン購入法	極力環境に配慮した製品の購入	2023年10月4日 2024年4月5日	2
⑤容器包装リサイクル法	容器包装廃棄物のリサイクル促進等による廃棄物の資源有効利用	2023年10月4日 2024年4月5日	3
⑥PRTR法	洗剤、剥離剤等については、SDSを入手し、化学物質の含有の有無を把握	2023年10月4日 2024年4月5日	3

評価 0:全く順守できず。 1:ほとんど順守できず。 2:ある程度順守した。 3:順守した。

①労働安全衛生法、②廃棄物の処理及び清掃に関する法律、③建築物にかかる衛生的環境の確保に関する法律、⑤容器包装リサイクル法、⑥PRTR法については順守できたが、④グリーン購入法については物品購入等に際し、出来る限りその製品を選択した。

(2)法令違反・訴訟等の有無

今期、環境関連法規への違反・訴訟等はありません。また、関連当局からの違反・訴訟等に関する指摘は過去3年間ありません。当社は環境関連法規の順守評価は毎年自主的に行っています。

10 代表者による全体の評価と見直し、指示

結果及び評価	環境経営システムが有効に機能しているか	日々の取組が二酸化炭素排出量の目標達成につながっており、環境経営システムは有効に機能している。
	環境への取組は適切に実施されているか	環境への取組は積極的かつ適切に実施している。 ・社員は環境配慮活動を能動的に取り組んでおり、エコアクション21活動は定着してきた。 ・併せて、SDGsの目標達成に向けた環境配慮上の主要取組としてエコアクション21を位置づけ、社員は常にこれを意識しながら活動している。
見直し・指示 (変更の必要性・指示)	環境経営方針変更の必要性	エコアクション21は十分な成果を挙げており、現時点変更する必要はない。
	環境経営目標変更の必要性	2023年度は十分な取組成果を挙げたので、これを踏まえて、さらに積極的な目標を掲げることが必要である。ただ、小規模事業所であることから、水使用量の削減は限界に近づいていると判断されるので、時期取組では適正な目標を策定することが必要である。
	環境経営計画変更の必要性	現在の環境経営計画で取組可能と考えているが、目標達成につながる計画を考慮する必要がある。
	組織体制変更の必要性	変更の必要はない。
	全体の見直し	上記を踏まえて必要な見直しを行うこと。

2024年5月13日

代表取締役社長 大野 公久

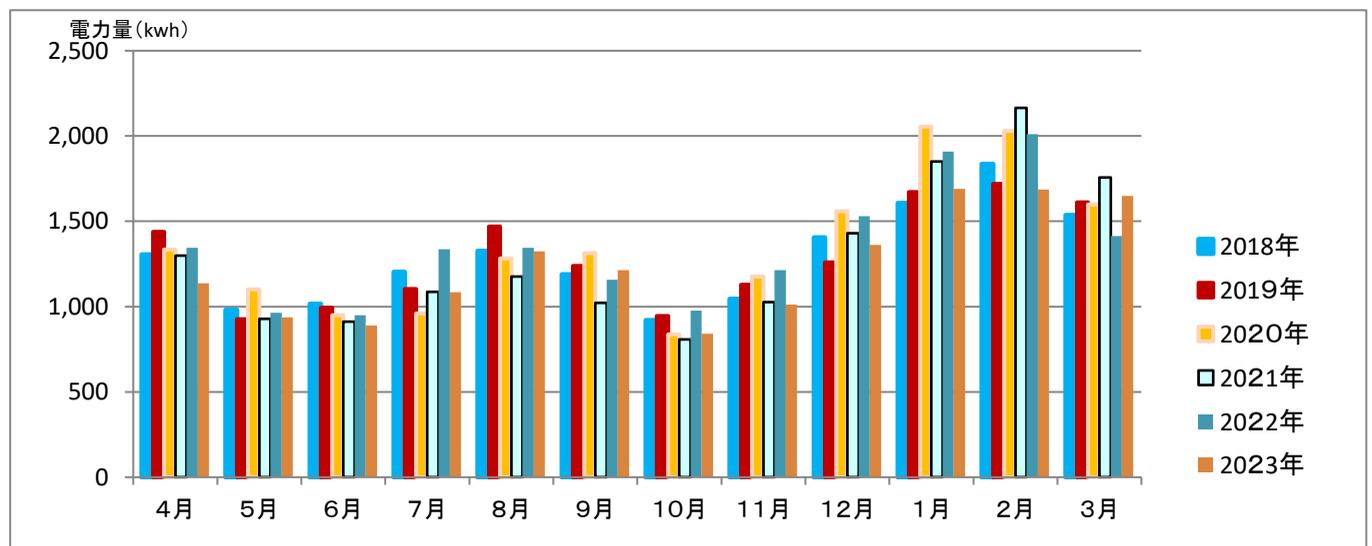
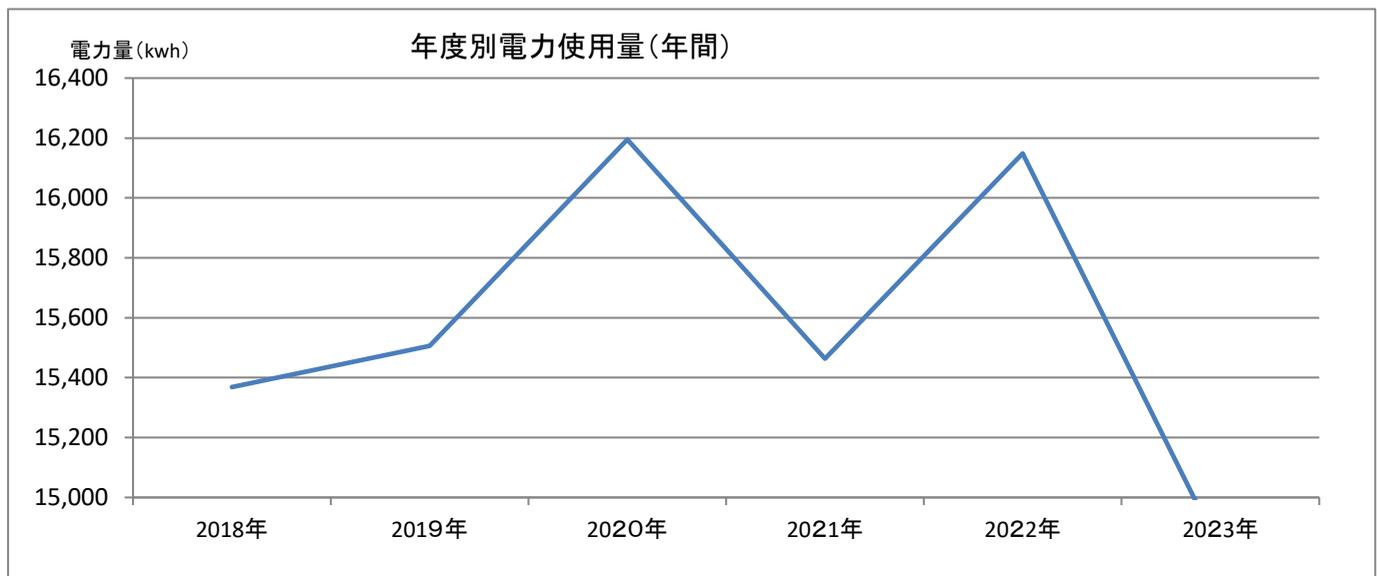
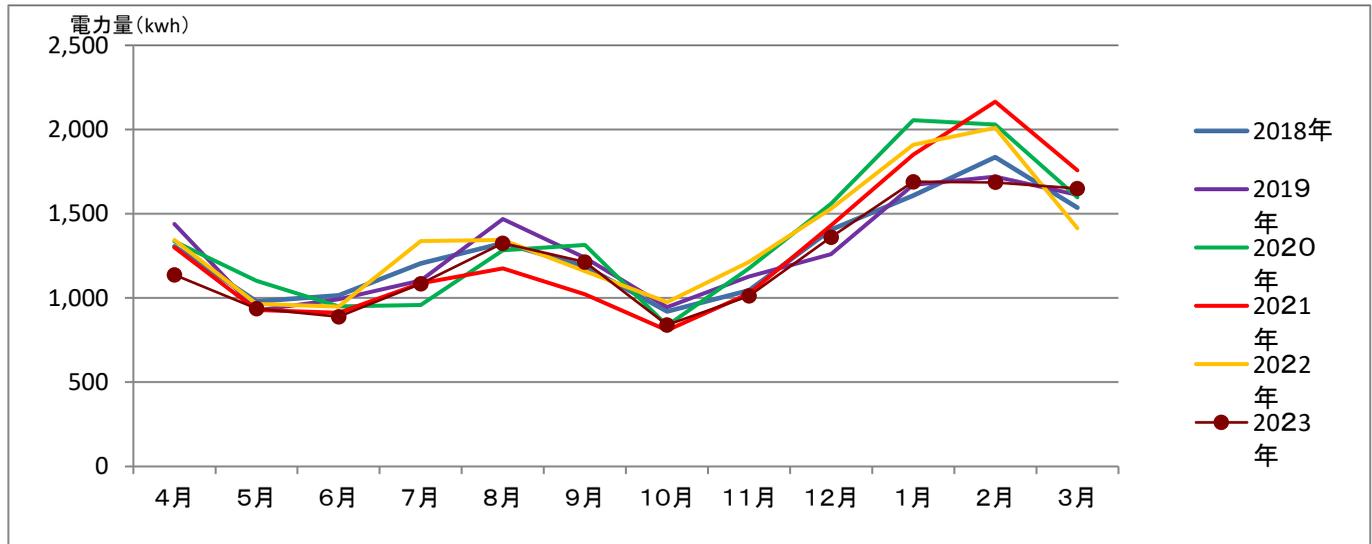
資料1

電力使用量推移表

(2018年～2023年)

電力量(kwh)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年	1,306	980	1,016	1,204	1,326	1,189	920	1,044	1,405	1,607	1,836	1,536	15,369
2019年	1,439	926	992	1,104	1,469	1,239	946	1,128	1,260	1,671	1,720	1,612	15,506
2020年	1,335	1,101	950	959	1,282	1,314	836	1,176	1,559	2,055	2,030	1,598	16,195
2021年	1,300	929	912	1,086	1,176	1,022	808	1,026	1,431	1,851	2,165	1,757	15,463
2022年	1,344	964	949	1,337	1,344	1,158	976	1,214	1,530	1,909	2,010	1,414	16,149
2023年	1,137	937	888	1,084	1,325	1,213	840	1,012	1,361	1,690	1,686	1,649	14,822



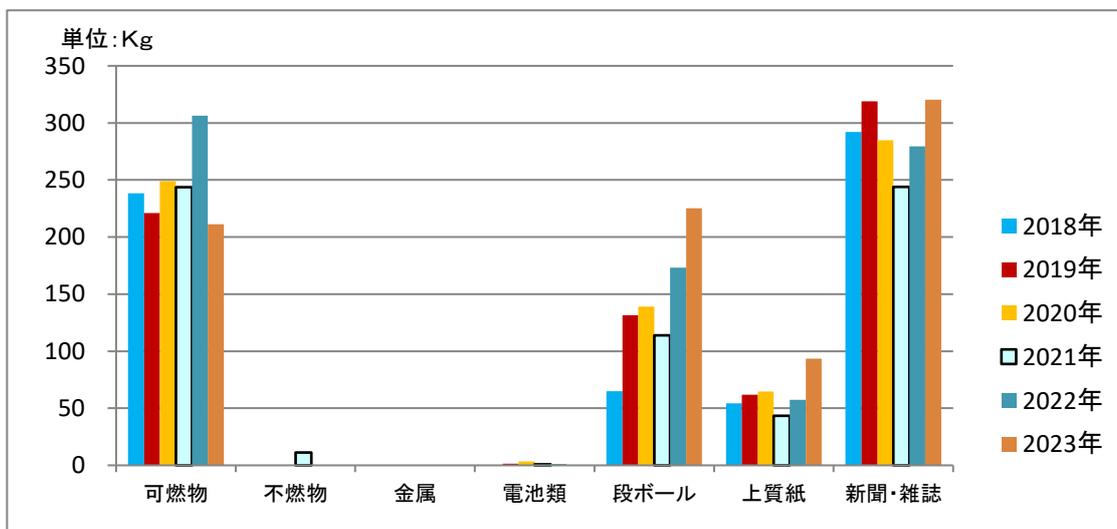
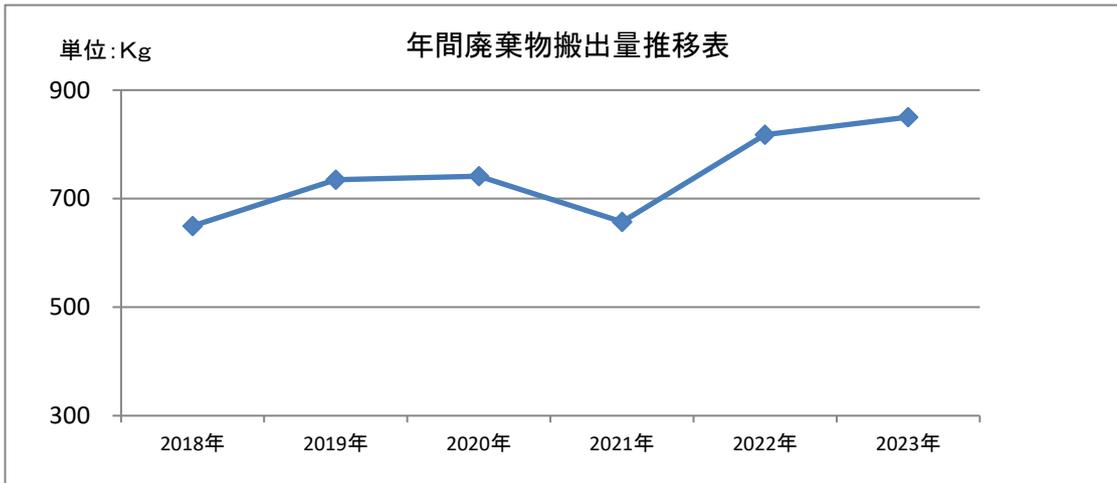
資料2

廃棄物搬出量推移表

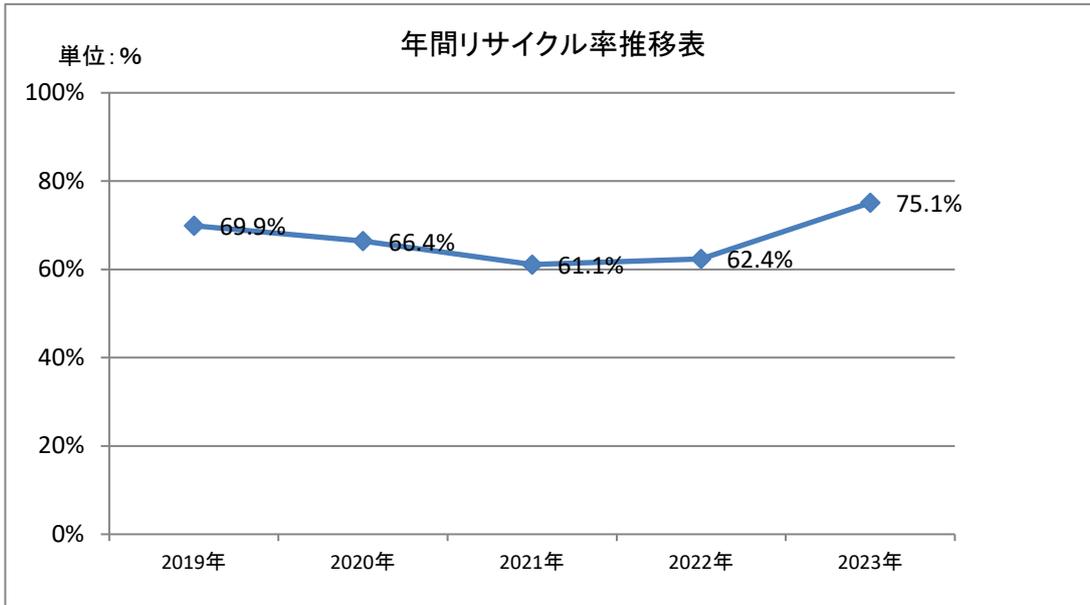
(2018年～2023年)

(単位Kg)

	可燃物	不燃物	金属	電池類	段ボール	上質紙	新聞・雑誌	合計	リサイクル率
2018年	238.40	0.00	0.00	0.00	64.90	54.20	292.20	649.70	63.3%
2019年	220.90	0.00	0.00	1.50	131.50	61.80	318.90	734.60	69.9%
2020年	248.90	0.00	0.00	3.50	139.10	64.80	284.80	741.10	66.4%
2021年	243.80	11.20	0.00	0.80	113.90	43.30	244.10	657.10	61.1%
2022年	306.40	0.00	0.00	1.30	173.20	57.30	279.40	817.60	62.4%
2023年	211.30	0.00	0.00	0.00	225.20	93.40	320.30	850.20	75.1%



資料3 リサイクル率推移表



年度	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
リサイクル率	69.9%	66.4%	61.1%	62.4%	75.1%

資料4

水道使用量推移表

(2018年～2023年) 水道使用量(m³)

年度	4月	6月	8月	10月	12月	2月	合計
2018年	28	28	28	28	22	24	158
2019年	17	24	24	28	24	24	141
2020年	30	30	24	24	32	24	164
2021年	18	18	18	21	21	22	118
2022年	16	17	17	19	22	20	111
2023年	21	20	18	21	21	24	125

